

デーヴォ ガイド



2023.11.20-26

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

20:1 ぶどう酒は嘲る者。強い酒は騒ぎ立てる者。これにおぼれる者はみな、知恵がない。
20:2 王の恐ろしさは若い獅子がうなるよう。彼を怒らせる者は、代償としてのちを失う。
20:3 争いを避けることは人の誉れ。愚か者はみな、争いを引き起こす。

20:4 怠け者は冬に耕さない。刈り入れ時に求めても、何もない。

20:5 人の心にある計画は深い水。英知のある人はこれを汲み出す。

20:6 多くの人は自分の親切を吹聴する。だが忠実な人を見つけられるだろうか。

20:7 正しい人は誠実に歩む。彼の子孫はなんと幸いなことか。

20:8 さばきの座に着く王は、自分の目ですべての悪をふるい分ける。

20:9 だが、「私は自分の心を清めた。私は罪から離れ、きよくなった」と言えるだろうか。

20:10 異なる二種類の重り、異なる二種類の升、そのどちらも【主】は忌み嫌われる。

20:11 幼子でさえ、何かするとき、その行いが純粋かどうか、真っ直ぐかどうかを識別する。

20:12 聞く耳と見る目は、二つとも【主】が造られた。

20:13 眠りを愛するな。貧しくならないために。目を開け。そうすればパンに満ち足りる。

20:14 買う者は「悪い、悪い」と言うが、その場を離れると、それを自慢する。

お酒は楽しく感じることもあります。が、「おぼれる」ように依存したり頼りにするなら、「知恵がない」ライフスタイルです。「王」などの権力者と争

うのは「代償」を払うことになりますから、「争いを避け」て平和をつくる者となりますでしょう。

「計画」は必要です。秋の収穫のために「冬に耕」すように、人生の先のために準備を始めましょう。まだ結果は、「深い水」のように見えませんが、これを汲みだして潤うようになります。

「自分の親切」のような善行を「吹聴」しないように、すなわち自分を良い人のように偽ることはやめましょう。それは「忠実（または誠実）」なやり方ではありません。「誠実」に歩む人は、そのときは得をしていないように見えても、結局は神様が「子孫」までも祝福してください。

物事の善悪を「ふるい分ける」のは自分自身ではありません。「王」のような権威であつたりします。なので「自分で」自分の善や「きよく」なったことを主張しても、人々は取り合わないことも多いのです。自分のことも客観的に見ましょ

う。「二種類の重り」のようにダブルスタンダードは不正であり、主の「嫌われる」ことですから、公平でありましょう。大人の事情と言って言い訳しないで、幼子のように率直でありましょう。

私たちは耳で聞き目で見て判断しますが、それらも主によって造られたのですから、主に判断を聞くことを忘れないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 火曜

箴言

20:15 金があり、多くの真珠があっても、知識の唇こそ宝の器。

20:16 他人の保証人となるときは、その人の上着を取れ。見知らぬ女のためにも、上着を抵当に取れ。

20:17 だまし取ったパンはうまい。しかし、後でその口は砂利でいっぱいになる。

20:18 協議によって計画は確かなものとなる。すぐれた指揮のもとに戦いを交えよ。

20:19 人を中傷して回る者は秘密を漏らす。唇を開く者とは交わるな。

20:20 自分の父や母をのしる者、そのともしびは、闇が近づくこと消える。

20:21 初めに急に得た相続財産は、終わりに祝福されない。

20:22 「悪に報いてやろう」と言ってはならない。【主】を待ち望め。主があなたを救われる。

20:23 異なる二種類の重りは【主】に忌み嫌われる。欺きの秤は良くない。

20:24 人の歩みは【主】によって定められる。人はどうして自分の道を悟ることができるだろう。

20:25 軽々しく「これは聖なるもの」と言い、誓願を立てた後で吟味する者は、罨にかかっている。

20:26 知恵のある王は悪しき者をふるいにかかけ、彼らの上で車輪を引き回す。

20:27 人間の息は【主】のともしび。腹の底まで探り出す。

20:28 恵みとまことは王を保つ。恵みによってその王位は支えられる。

20:29 若い男の栄誉は彼らの力。老人の輝き



はその白髪。

20:30 傷つくまで打てば、悪は取り除かれる。腹の底まで打ちたたけば。

保証人になるときは、貸し手に迷惑がかからないようにすることも重要です。貧しいやめのような「見知らぬ女のために」保証人なるときも、やはり「抵当」を取るよう勤めています。それも貸し手に迷惑がかからないようにするためであり、借りての社会的責任を保持するためでもあります。（ただしユダヤの規定では、着物を抵当に取った場合は日没までに返さなければなりません。貧しい人の生活も守られるべきです。）

「協議によって計画は」とありますから、自分が独善的にならないようにしましょう。「父や母をのしる者」も、自分は正しいと思つてのことが多いでしょうが、独善的になっている場合があります。

「急に得た財産」もどこから来たのか考えましょう。主から来たのですから、主のみ旨にしたがえば、祝福があります。主を中心に考えるなら「悪に報いる」必要もありません。主に誓願を立てたなら、吟味（再考）の余地はありません。それを果たすまでです。

「若い男」も「老人」も、それぞれに「輝き」や「栄誉」があります。年齢にふさわしく、そして年齢に負けないで、良い自己像を持って歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 水曜

箴言

21:1 王の心は、【主】の手の中であって水の流れのよう。主はみこころのままに、その向きを変えられる。

21:2 人には自分の歩みがみなまっすぐに見える。しかし、【主】は人の心を評価される。

21:3 義と公正を行うことは、【主】の前で、いけにえより望ましい。

21:4 高ぶる目とおごる心。悪しき者のともしびは罪。

21:5 勤勉な人の計画は利益をもたらし、すべて慌てる者は損失を招くだけだ。

21:6 偽りの舌をもって財宝を得る者は、吹き払われるもやのよう。死を追い求める者だ。

21:7 悪しき者たちは自らの暴力に引きずられる。公正を行おうとしないからだ。

21:8 罪人の道はねじれている。しかし、純粋な人の行いは真っ直ぐだ。

21:9 争い好きな女と一緒に家にいるよりは、屋上の片隅に住むほうがよい。

21:10 悪しき者のたましいは悪事に憧れ、その目に隣人へのあわれみはない。

21:11 嘲る者が罰を受けると、浅はかな者が知恵を得る。知恵のある人が賢くなると、その人は知識を加える。

21:12 正しい方は悪者の家を見抜き、悪者どもをわざわざに導かれる。

21:13 貧しい者の叫びに耳を閉ざす者は、自分が呼ぶときにも答えてもらえない。

21:14 ひそかな贈り物は怒りを鎮め、懐の賄賂は激しい憤りを鎮める。

王のような権力者でも「主」のみこころのままに「向き」を変えられるのですから、主の方を尊重しましょう。



自分の歩みを「まっすぐ」に見てしまいがちですから、自分自身の心を見るようにしましょう。主の前に「義」と「公正」、「高ぶ」らないこと、「勤勉」であることを大切に、主からの「利益」に期待しましょう。

女性の魅力は外見ではなく、心の優しさですから、どんなに魅力的に見えても「争い好き」な人を慕うことには気をつけましょう。女性は優しい平和な人になるように努めましょう。

「貧しい」人に共感し、助けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 23日 木曜

箴言

21:15 公正が行われることは、正しい人には喜び、不法を行う者には恐怖。
21:16 賢明さへの道から迷い出る人は、死者の霊たちの集いで安らぐ。
21:17 快楽を愛する者は貧しい人となり、ぶどう酒や油を愛する者は富むことがない。
21:18 悪しき者が正しい人のための身代金となり、裏切り者が直ぐな人の身代わりとなる。
21:19 争い好きで、苛立つ女というよりは、荒野に住むほうがまだましだ。
21:20 知恵のある者の住まいには、好ましい財宝と油がある。しかし、愚かな人はこれを呑み尽くす。
21:21 義と恵みを追い求める者は、いのちと義と誉れを見出す。
21:22 知恵のある者は勇士たちの町に攻め上り、その頼みとする砦を崩す。
21:23 自分の口と舌を守る者は、自分自身を守って苦難にあわない。
21:24 横柄で不遜な者、その名は「嘲る者」。彼は憤然として横柄にふるまう。
21:25 怠け者の欲望はその身を殺す。その手が、働くことを拒むからだ。
21:26 この者は一日中、自分の欲望に明け暮れる。しかし、正しい人は人に与えて惜しまない。
21:27 悪しき者のいけにえは忌み嫌われる。悪意をもって献げるときは、なおさらのこと。
21:28 偽りの証人は滅びる。しかし、よく聞く者は正しく語り続ける。
21:29 悪しき者は厚かましいが、直ぐな人は自分の道をわきまえる。
21:30 どんな知恵も英知も、はかりごと、



【主】の前では無きに等しい。
21:31 戦いの日のためには馬が備えられる。
しかし、救いは【主】による。

「公正」を喜べるような歩をしましょう。「死者の霊たち」には命も希望もありません。そのような集いで「安らぐ」ような気になっても、それは本物ではなく、また長続きはしません。「賢明」な人間関係を選びましょう。

「悪しき者」や「裏切り者」は悪知恵が働くので、「身代金」などを盾にして要求を通そうとしますが、その結末は自分自身が「身代わり」となってしまうことです。この世も主が導いておられるので、主に従い信頼しましょう。

「義を追い求め」ていのちと誉をいただきましょう。知恵のある勇士となって、サタンの砦を崩しましょう。自分自身の「口と舌」を守り、みどころにかなったことを話しましょう。

「横柄に」ならないように、怠けないように「欲望」に引き回されないようにしましょう。むしろ「人に与えて」主からの祝福で満たされましょう。人の「はかりごと」は主のご計画にはまるで敵わないからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 金曜

箴言

22:1 名声は多くの富より望ましく、愛顧を受けることは銀や金にまさる。
22:2 富む者と貧しい者が会おう。どちらもみな、造られたのは【主】である。
22:3 賢い者はわざわざいを見て身を隠し、浅はかな者は入って行って痛い目にあう。
22:4 へりくだりと、【主】を恐れることの報いは、富と誉れといのち。
22:5 曲がった者の道には茨と罾がある。たましいを守る者はこれらから遠く離れる。
22:6 若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。
22:7 富む者は貧しい者を支配する。借りる者は貸す者のしもべとなる。
22:8 不正を諳く者はわざわざいを刈り取る。こうして彼への激しい怒りのむちは終わる。
22:9 善意の人は祝福を受ける。自分のパンを貧しい者に与えるからだ。
22:10 嘲る者を追い出せ。争いは出て行く。もめごとと辱めも終わる。
22:11 心のきよさを愛し、優しく話をする者は、王がその友となる。
22:12 【主】の目は知識を見守り、裏切り者のことばをくつがえす。
22:13 怠け者は言う。「獅子が通りにいる。私は広場で殺される」と。
22:14 よその女の口車は深い穴。【主】の憤りに触れた者がそこに落ち込む。
22:15 愚かさは子どもの心に絡み付いている。懲らしめのむちがこれを子どもから遠ざける。
22:16 自分を富ませるために貧しい人を虐げる者、富む人に与える者——どちらも欠乏に



至るのみ。

この「名声」とは、人々に価値あるものをもたらした後の、真の尊敬を伴う名声です。金ばかりを求めることをしないで、それらに「まさる」ものを受けましょう。「富む」ことも「貧しい」ことも「主」がその状況を造られたのですから、どちらも積極的に受け入れましょう。そのとき、貧富を超えた真の幸せと満たしが与えられます。「へりくだり」しましょう。

「若者」を教育するのは「その道にふさわしく」あるべきです。すなわち将来をしっかりと見てあげて、その夢や希望を尊重してあげて、有益に導いてあげることです。決して自分が先輩だからと言って、価値観を押し付けるようなことのないようにしましょう。

「富む者」の支配、「善意の人」の祝福、「嘲る者」のわざわざい、「優しく話をする者」の友情などは、世の原理であり主の造られた世界の法則ですから、これらをしっかりと心に留めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 土曜

箴言



22:17 耳を傾けて、知恵のある者たちのことばを聞け。私の知識に心を向けよ。
22:18 これらをあなたのうちに保つのは楽しいこと。これらをみな、あなたの唇に備えよ。
22:19 あなたが【主】に拠り頼むことができるように、私は今日、特にあなたに教える。
22:20 私はあなたのために、勧告と知識についての三十句を書いたではないか。
22:21 これは、あなたに真理のことばの確かさを教え、あなたを遣わした者に、真理のことばを持ち帰らせるためである。
22:22 貧しい者からかすめ取るな。彼が貧しいからといって、苦しむ者を門のところで踏みにじるな。
22:23 【主】が彼らの訴えを取り上げ、彼らから奪う者のいのちを、奪われるからだ。
22:24 怒りっぽい者と交わるな。激しやすい者と一緒に行くな。
22:25 あなたがその道に倣って、自分が罠にかからないために。
22:26 あなたは人と誓約をしてはならない。負債の保証人となってはならない。
22:27 あなたに償うものがないとき、人があなたの下から寝床を奪ってもよいだろうか。
22:28 昔からの地境を移してはならない。それはあなたの先祖が設けたものだ。
22:29 仕事に熟練した人を見たことがあるか。その人は王の前に立つが、無名の人の前には立たない。

自分には知恵が足りないと、誰しも思うものです。そのときは「知識のある者たち」のことばを聞きましょう。
貧しい人を愛しましょう。見返りを期待できない

から、主の祝福をいただけます。
「怒りっぽい者」に対しては警戒しましょう。それは自分も対抗してしまう恐れがあるからです。「負債の保証人」になることは危険です。与えることができないなら、慎重でありましょう。
「昔からの地境」とは先達の苦勞の賜物ですから、それを尊重することは重要です。そこには主のご計画が流れています。
自分に与えられた「仕事」に「熟練」した者となりましょう。「王の前に」立てるほどの栄誉を、神様からいただくこととなります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 ユダの王、アモンの子ヨシヤの時代に、クシの子ゼパニヤにあった【主】のことば。クシはゲダルヤの子、ゲダルヤはアマルヤの子、アマルヤはヒゼキヤの子である。

1:2 「わたしは必ず、すべてのものを大地の面から取り除く。——【主】のことば——」

1:3 わたしは人と獣を取り除き、空の鳥と海の魚を取り除く。悪者どもをつまずかせ、人を大地の面から断ち切る。——【主】のことば——

1:4 わたしは手をユダの上に、エルサレムのすべての住民の上に伸ばす。その場所からバアルの残りを、偶像の祭司たちの名を、その祭司らとともに断つ。

1:5 そして、屋上で天の万象を拝む者どもを、また、【主】に誓いを立てて礼拝しながら、ミルコムに誓いを立てる者どもを、

1:6 【主】に従うことをやめた者ども、【主】を尋ねず求めない者どもを断ち切る。」

1:7 口をつぐめ。【神】である主の前で。【主】の日は近い。【主】はいけにえを備え、招いた者たちを聖別されたからだ。

1:8 「【主】であるわたしが獣を屠る日に、わたしは首長たち、王子たち、すべて外国の服をまとった者たちを罰する。

1:9 その日、わたしは罰する。すべて神殿の敷居を跳び越える者、主人の家を暴虐と欺きで満たす者どもを。

1:10 その日には——【主】のことば——魚の門から叫び声が、第二区から嘆きの声が、もろもろの丘から大いなる破滅の響きが起る。

1:11 泣き叫べ、マクテシユ区に住む者どもよ。

商人はみな滅び失せ、すべて銀を量る者は断ち切られるからだ。

1:12 そのときわたしは、ともしびをかざしてエルサレム中を捜す。そして、ぶどう酒のかすの上によどみつ、心の中で『【主】は良いことも、悪いこともしない』と言っている者どもを罰する。

1:13 彼らの財産は略奪され、家は荒れ果てる。家を建てても、そこに住めず、ぶどう畑を作っても、ぶどう酒を飲めない。」

この書の著者であるゼパニヤはヒゼキヤ王の血統で、発言力もあったと思われます。平和に慣れてしまい、神様への忠実さや恐れがなくなってしまったユダ王国の民に、神のさばきがあることを明言します。

これは現代も多くのクリスチャンに言えることで、平穏な生活に慣れてしまい、神様に従ったりしなくても生活できている…とたかをくくってしまう傾向もあるのです。そのような態度に対して神様は見過ごすことはありません。

またクリスチャンだけではなく、全ての人類に対しても、神様は主権者でありますので、創造主をないがしろにする人々の態度を見過ごしにはなさらないのです。(2:4~)

本書ではいきなり「取り除く」「断ち滅ぼす」といったさばきが語られます。もちろんこれまでも、神様はねんごろに愛を持ってご自身に立ち返るようにと、説いていたのです。それでも神の声を無視する者にとっては、さばきは突然のようにもたらされるということです。

ここでは具体的には、「バアル」信仰のような偶像礼拝者や、「天の万象を拝む」自然礼拝者に対する警告があります。また「主を求めない者」といった、不敬虔者に対して警告されています。

さばきは大きな規模でなされることがわかります。人々の心にあるのは「主は良いことも、悪い

こともしない。」というような、神に対するあなどりです。私たちは主は必ずみわざをなされるのだ…という確信を持ち続けましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

